

試合番号 : 316		試合会場 : 四日市市総合体育館				観客数 :		
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:30		試合時間 : 01:30		主審 : 中山 健		
副審 : 岡田 崇		トヨタ車体クインシーズ		東レアローズ		通算 3勝 0敗 ポイント : 9		
監督コメント	昨日の厳しい結果から、再度ブロックとディフェンスの関係を見直し、大きく改善を図れた部分もありました。まだそのプロセスの中で自らの失点によって絶好の機会を逃しています。		0	19	第1セット	25	3	今日の試合は序盤、相手チームのサーブに崩され攻撃のリズムを作れず苦しい展開となりましたが、粘り強く得点を重ねることができました。第2セットには大きくリードされましたが、途中出場の選手たちも良い仕事をしてきて勝ち切れたことは大きかったと思います。次週もチーム全員で勝利に向けてしっかりと準備をしていきます。本日も応援いただきありがとうございます。
	新しいメンバーを加え、新しいクインシーズの姿で初勝利をつかめるようにチーム一丸となって前進していきたいと思えます。			26	第2セット	28		
	敗戦から学び、強くなったのがクインシーズです。さらなる成長をお見せできるよう精進いたしますので、これからもよろしくお願いいたします。			17	第3セット	25		
	来週は会場でファンの皆様とお会いできることを楽しみにしております。				第4セット			
					第5セット			
要約レポート								
今シーズンのホームゲーム第2戦となるトヨタ車体クインシーズと、東レアローズの一戦。第1セット、序盤は一進一退の攻防が繰り返されたが中盤、黒後、石川の攻撃などで東レがリードすると、最後は克蘭がアタックを決め、勢いにのる東レがセットを先取した。第2セット、トヨタ車体は序盤にタイムアウトを効果的に取り、山上、ソロカイテの攻撃などでリズムをつかみ、20-13と大きくリードした。しかし、東レは石川のアタックや大野のブロックなどで粘りを見せデュースにもつれ込む。その後、一進一退の攻防となったが、最後は克蘭がアタックを決め、抜け出した東レがセットを連取した。第3セット、トヨタ車体はソロカイテ、藪田などのアタックでリズムをつかもうとするが、好調をキープした東レの流れを止めることができず、ホームで厳しい2連敗を喫した。								

試合番号 : 317		試合会場 : 毎日興業アリーナ久喜 (久喜市総合体育館)				観客数 : 0		
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:24		試合時間 : 01:24		主審 : 増岡 三佳子		
副審 : 北村 友香		埼玉上尾メディックス		久光スプリングス		通算 2勝 2敗 ポイント : 6		
監督コメント	私達のチームで1勝を得られたこと、昨日の敗戦からチームとして立て直したことを大変嬉しです。また、コートで戦っている選手、サポートしてくれている選手、スタッフ一丸となって勝利できたことは、今後のチームの成長にとっても良い刺激になったと思います。		3	25	第1セット	22	0	昨日の勝利の勢いを連勝へとつなげたかったが、非常に残念な結果となってしまった。情報の少ない外国籍選手への対応が遅れたことと相手の良いサーブに苦しめられたことが敗因となってしまった。しっかりと修正して来週につなげたい。自チームの課題としっかりと向き合い優勝するまで、チーム全員で困難を乗り越え成長していきたい。この敗戦は、成長への一戦だととらえて、さらなる進化へとつなげていきます。引き続き、久光スプリングスのご支援をよろしくお願いいたします。
	厳しい戦いは、まだまだ続きますが個人の成長とチームの成長に力を注いでいきます。引き続き応援よろしくお願いいたします。			25	第2セット	15		
				25	第3セット	19		
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート								
ホームゲームを勝利で飾りたい埼玉上尾メディックスと二連勝を狙う久光スプリングスとの一戦。第1セット、序盤戦からお互いの好レシーブと攻撃で競い合う展開が続く、山崎、青柳のセンター攻撃を軸に埼玉上尾がリードする。後半に埼玉上尾のサンティアゴ、ジョセフラが要所で活躍し先取する。第2セット、埼玉上尾は内瀬戸の活躍から幸先の良いスタートをきる。久光は濱松のサーブから同点に追いつくも、吉野、内瀬戸らの活躍で点差を広げられると、終盤21-15からの堀江のサーブが連続効果的に決まり最後はノータッチエースで埼玉上尾がセットを連取する。第3セット、手に汗握る展開が続く中、埼玉上尾はサンティアゴ、内瀬戸の攻撃でリードを広げる。久光は井上(愛)のスパイクで追い上げを見せるが一歩及ばず、埼玉上尾が吉野のサーブで相手を崩し、内瀬戸が得点を重ねてホームゲームをストレートで勝利した。								

試合番号 : 318		試合会場 : とどろきアリーナ				観客数 : 1,425		
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:29		試合時間 : 01:29		主審 : 内藤 聡美		
副審 : 明井 寿枝		NECレッドロケッツ		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 1勝 3敗 ポイント : 2		
監督コメント	ホームで2連勝できたことを大変嬉しく思います。第1、第2セットは、うまく自分たちのリズムが作れず、苦しい展開でしたが、第3セットにバックアタックから良いオフェンスのリズムを取り戻せたことが良かったです。次に向けて、もっと強くなっていきたいと思えます。		3	25	第1セット	20	0	攻撃、ブロックともに高さのあるNECに対して、どのようにディフェンスをかため、トランジションアタックにつなげるかがポイントでした。しかし、相手のコンビネーション攻撃に、ブロックが分断され、リズムができませんでした。第2セット、こちらのライト攻撃でリズムを作ったものの、最後は高さのある攻撃にやられ、第3セットも終始リードを許し、ストレートでの敗戦となりました。課題を修正し、次週の準備をしたいと思えます。今後ともご支援よろしくお願いいたします。
	ホームでの2日間、本当に応援に支えられたと感じています。毎回熱い応援、ありがとうございます。来週の試合もご支援よろしくお願いいたします。			25	第2セット	22		
				25	第3セット	19		
					第4セット			
					第5セット			
要約レポート								
昨日のホームゲーム初勝利に続いて2連勝を狙うNECレッドロケッツ。そこにKUROBEアクアフェアリーズが臨む一戦となった。第1セット、序盤はKUROBEがNECを追いかけつつ互いに譲らない展開。しかし、徐々にNECがセッター澤田の多彩なトス回しで攻撃を仕掛けてKUROBEを突き放していく。流れを変えたいKUROBEは選手交代やタイムアウトを使い、終盤は梅津のブロックや浮島のライトから攻撃で応戦するも、相手の勢いを止められず、NECがセットを先取した。第2セット、NECは攻撃ミスが続く、KUROBEが浮島の攻撃や小西の巧みなサーブで序盤リードする。中盤もKUROBEは攻撃を緩めず、NECは小島のレシーブで守るも、KUROBEはリードを譲らない。しかし終盤に向けてNECが曾我や古賀、島村の攻撃で追い越し、そのままセットを連取した。第3セット、序盤からNECは上野や古谷、古賀のフェイントやスパイクで得点を着実に重ね、KUROBEは浮島や杉原のブロックやスパイクで応戦するものなかなか追い越せない。中盤もNECは古谷のスパイクや上野のブロックで連続得点を重ねて、KUROBEを突き放す。終盤、NECは古谷に加えて曾我の攻撃で得点し、KUROBE浮島の攻守に粘り強いプレーを振り切って、最後はNEC島村のブロックでセットを取り、ホームゲームを2連勝で締めくくった。								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	
副審 :		通算 -勝 -敗 ポイント : -		第1セット		通算 -勝 -敗 ポイント : -	
監督コメント			第2セット		監督コメント		
			第3セット				
			第4セット				
			第5セット				
要約レポート							